

第1回 恵庭市総合教育会議記録

- 1 日 時 平成28年4月27日(水) 17:00～18:17
- 2 場 所 恵み野旭小学校 旭っ子ルーム
- 3 出席者 (市長)原田 裕、(教育長)穂積 邦彦、
(教育長職務代理者)宮本 春美、(教育委員)土谷 秀樹、
(教育委員)尾形 直子、(教育委員)福屋 栄人
オブザーバー(副市長)北越 俊二
事務局
(総務部長)中川 淳一、(教育部長)橋場 誠次、
(総務部次長)横道 義孝、(教育部次長)有沢 伸幸、
- 4 傍聴者 2 名
- 5 議題 議題(1)第二次恵庭市教育大綱(案)について
(2)今年度の教育施策について
(3)今後のスケジュールについて
(4)その他
- 6 議事録内容

1. 市長挨拶

(市長)

今年度の第1回目の総合教育会議ということで、日頃から市の教育各般にわたりご見識を披露いただき、また健全な教育のためにご尽力いただいていることに感謝申し上げます。平成28年度の予算がスタートし、新しい様々な事業も展開される予定ではありますが、それぞれが有効にかつ充実した形の中で執行されることを願っております。

さて、恵庭市の教育については、これまで教育委員会の皆様方の努力にて、着実に成果が上がってきていると感じ、学校教育で言えば土曜授業がこれまでの柏陽中学校での実施から、市内全小中学校に拡大して展開され、またソフト面では通学合宿がほとんどの小中学校で実践されており、地域と学校、子どもたちとのつながりや連携をさらに図られております。他の市を見てもみても大きな成果であると思います。このことが子どもの幸せや、家庭の幸福につながっていると考えると、とても大きなことであると思います。

そうしたことを進めるためには市長と教育委員会が意見交換しながら、より高いステージに行くための方策を考えていくことが大事であり、そこに総合教育会議の意味があります。また昨年10月に恵庭市の総合戦略を策定し、本年度から第5期恵庭市総合計画をスタートさせ、その計画に沿った形での第二次恵庭市教育大綱であり、非常にいい形の中で恵庭の教育が進んでいるのは間違いなく、これをさらに進めるための教育大綱でありますのでご指導を賜りますようお願いいたします。また市長部局に対してもご意見をいただければ幸い

かと思えます。

2. 教育長挨拶

(教育長)

昨年度から新しい教育委員会制度が始まり、総合教育会議において恵庭市の総合計画の流れを基盤とし、昨年度から教育委員会の各種計画等を踏まえた教育大綱を整備し、市長部局と連携を図りながら教育行政を進めてきました。また、教育をめぐる大きな課題についても議論を重ねてきたところであります。

本年度から第5期恵庭市総合計画がスタートすることから、新たな教育大綱を定めることでとり進めてきました。教育委員会においても総合計画と時期を合わせながら、学校教育基本方針の中の第2次教育推進プログラムの策定や第4期生涯学習基本計画の策定等に当たってきました。

恵庭市の教育の推進に当たっては、心の拠り所となるふるさと教育を基盤とし、知育・徳育・体育のバランスの取れた成長を願って、ふるさと・知・徳・体の4つの視点から総合的に教育を進めているところであります。

また学校の創意工夫と地域の方々の献身的な協力により、子どもたちは落ち着いた環境の中で順調に成長していると受け止めています。

恵庭の良さとして、読書活動、通学合宿や恵庭版コミュニティスクールに代表される地域一体となった体験活動、柏陽中学校を中心とした土曜授業と小中連携教育、縄文のカルンバ遺跡などが挙げられます。道内外からの視察が増えているのは、実践が高く評価されている証であると思っています。

教育の課題としては、学力や体力の向上、生徒指導の充実は何時の時代にあっても重要な課題であります。当面の大きな課題としては、土曜授業の全市展開、柏陽・若草の小中連携の拡充、発達障がい通級指導教室の運営、電子黒板等のICT環境の整備、カルンバ遺跡の整備、オープンする生涯学習施設かしわのもりの運営などがあります。

本日の総合教育会議は、電子黒板等の視察も兼ねて、電子黒板等の導入推進校である恵み野旭小学校で開催する運びとなりました。教育大綱や本年度の施策、課題について、市長との忌憚のない話し合いにより、まちぐるみでの教育がさらに充実にしていくことを大いに期待しているところで、どうぞよろしく申し上げます。

3. 議 題

(1) 第二次恵庭市教育大綱(案)について

(事務局A)

「第二次恵庭市教育大綱(案)について」説明いたします。

3ページの中ほどにある「目標4」までについては、昨年の総合教育会議でご了承をいただいているところです。

その後、この大綱の基本となる「第5期総合計画」の基本構想が議会にて議決され、今年度からは新総合計画の、「前期基本計画」「第1次実施計画」に沿い行政運営がなされております。

前回ご審議いただいた部分は、総合計画でも変更がありませんでしたので、大綱(案)に

についても修正しておりません。

したがいまして、今回は3ページ後段以降の「重点施策」についてご説明申し上げます。

「重点施策」につきましては、その1行目に示したとおり「恵庭市学校教育基本方針」「恵庭市生涯学習基本計画」における「理念」等をそのまま掲げ、大綱の推進を図ってまいりたいと考えております。

最初の「●」の「ふるさとに生き 夢と志をいだき、心豊かに たくましく伸びる子どもの育成をめざします」については、「恵庭市学校教育基本方針」の「第2次教育推進プログラム」における「教育理念」であります。その下に続く①から④までは、「推進プログラム」における「四つのめざす子ども像」であり、それぞれの丸数字の下にある小さな二重丸の項目は、12の「主要施策」としております。

また、4ページ中ほどにある「●」の、「次世代につなぐ『人づくり』『地域(まち)づくり』をすすめます」については、「第4期恵庭市生涯学習基本計画」の「基本理念」であります。その下に続く①から⑤までは「同計画」における「基本目標」であり、その下の小さな二重丸の項目は、施策展開のための「重点施策」という体系で表しております。

この大きな二つの理念を掲げることで、「学校教育」「社会教育」の両方を網羅し、教育委員会全体のそれぞれ具体の施策・事業を推進していこうとする教育大綱の「重点施策」といたしましたので、よろしくご審議いただき、ご承認賜ればと存じます。

(市長)

第二次恵庭市教育大綱(案)について説明がありましたが、「学校教育基本方針」、今年度から開始しております「生涯学習基本計画」、「第2次教育推進プログラム」の中に沿った形で整理しておりますが何かご質問等ございますか。

【質疑】

(A委員)

前回開催の総合教育会議において「大綱の基本目標」までは承認され、今回は「重点施策」が具体的に示されてきたが、どのような観点から項目を選定したのでしょうか。

(事務局A)

「恵庭市学校教育基本方針」の「第2次教育推進プログラム」と「第4期恵庭市生涯学習基本計画」は、今年度から新たにスタートしており、第5期総合計画の開始年度とも一致しております。そうしたことから、教育大綱の「重点施策」には、各方針・計画の一部の項目を抜き出すのではなく、すべての「施策」を列挙しました。

(B委員)

第5期恵庭市総合計画と、学校教育基本方針、生涯学習基本計画、市長公約(マニフェスト)との整合性はどのように考えておりますか。

(事務局A)

今回の教育大綱(案)の基本目標である「人が育ち文化育むまちづくり」は、総合計画の5本の「基本目標」のうち「目標Ⅳ」と合致させています。したがって総合計画の一部分

を教育大綱が担っていると考えています。

その教育大綱の重点施策に、「第2次教育推進プログラム」と「第4期恵庭市生涯学習基本計画」の施策を当てはめることにより整合性を図っております。

資料の①-2「重点施策推進のための具体項目・事業」をご覧ください。

こちらは、教育大綱の重点施策と、具体項目の関係を一覧にしております。「○」は学校教育基本方針・第2次教育推進プログラムの項目、「◎」は生涯学習基本計画の項目、「☆」は市長公約の項目となっています。

大綱では具体の項目・施策までは示しておりませんが、こうした形でそれぞれの整合性を整理しております。

(市長)

恵庭市総合計画から恵庭市学校基本方針、第4期恵庭市生涯学習基本計画を整理し、それぞれ審議し策定したものに沿った形で教育大綱を作成しました。

また、市長政策（マニフェスト）はそれぞれ計画の中に受け込ませて、整合性がとれた形となっております。

それでは次に（2）今年度の教育施策について説明をお願いします。

(2) 今年度の教育施策について

(事務局A)

今年度の教育施策について、資料2「平成28年度主要事業一覧」に基づき説明いたします。

今年度の教育施策につきまして資料にはございませんが、教育費の予算総額は19億5,500万円で、前年度比較で2億1,200万円、9.8%の減となっております。

この減の大きな要因は、今年度からスポーツ課が市長部局へ移管されたことに伴い関連事業費1億8,500万円が教育予算から移行したことや、学校非構造部材耐震化事業がほぼ完了したことで2億5,000万円が減額になったことによるものですが、一方でトイレ改修などの小・中学校環境整備事業や柏地区生涯学習施設整備事業はそれぞれ1億円ほど増額となっております。

次に、平成28年度予算の個別事業で特徴的なものについて説明したいと思います。

1ページをご覧ください。事業名の頭に表示している◎は新規事業、○は拡大事業となっており、こちらを中心に説明いたします。なお、一番右の欄に「☆」印があるものは市長政策（マニフェスト）に掲げられている事業ですので、参考としていただければと思います。

まず、一番上の「◎」では、「恵庭小学校開校130周年記念事業」に対する補助金を計上しております。

次に「スクールソーシャルワーカー事業費」の拡大として、スクールソーシャルワーカーの1名増員に係る予算を計上しております。

次に中段の「◎」、「発達障がいの通級指導教室事業」は、拠点校である柏小学校の開設備品となっております。

2ページに移っていただき、「スクールバス更新事業」は、バス1台を更新。その下の「社

会科副読本改定事業費」は次年度から使用する改訂版編纂・印刷経費を計上しております。次の、「土曜授業推進事業費」ですが、各校の協力により今年度から13校全小・中学校で実施することになっております。

また、その下の「◎」、「小・中学校コンピュータ教室機器整備事業」としては、今年度は若草小学校の更新を予定しています。

一番下の「市民会館設備改修事業」につきましては、昨年末に故障しました大ホールの空調設備改修経費と、経年劣化している吊物設備の取替え等を今年度から3カ年で整備しますがその初年度として計上しております。

3ページに移っていただき、「高校ブックライン事業」ですが、恵庭北高校と図書館をオンライン化し高校生の読書活動を支援していくものであります。

次の「ブックステーション整備事業」は、柏地区生涯学習施設『かしのもり』の今秋オープンに合わせてブックステーションを整備するものであります。

また2つ下の「図書館整備事業」は視聴覚室の空調設備を新たに整備するものであります。

これらが新規・拡大等の事業であります。その他の継続事業でも予算の増減がございますので資料でご確認いただき、不明な点をご質問いただければと存じます。

議題の2、「今年度の教育施策について」の説明を終わらせていただきます。

～ICT 電子黒板、タブレットを用いたデモンストレーション～

(市長)

それでは(2)今年度の教育施策について説明がありましたが、何かご質問等ございますか。

【質疑】

(C委員)

「小・中学校ICT教育環境整備事業」が、前年度比で大幅に予算減額となっている。今年度から新たに電子黒板等を整備するのではないのですか。

(事務局A)

「小・中学校ICT教育環境整備事業」については、昨年の学校校務支援システム事業の中でLAN整備が完了し、大幅な予算減とはなっておりますが、今年度は新規事業として「電子黒板」「デジタル教科書」の導入を恵み野旭小・恵み野中をモデル校として実施し、次年度以降2カ年で残り11校に整備する計画です。

(D委員)

「小・中学校環境整備事業」の事業概要に、トイレ改修工事がある。要望の高い事業だが、今後の全校の完了時期などを教えてほしい。

(事務局A)

「小・中学校環境整備事業」では、トイレ改修事業として恵み野小・松恵小・柏陽中の3校で工事、恵み野旭小については来年度以降に設計を行い、また、屋上防水工事として恵

み野小を実施することで、大幅な予算増となっております。

トイレ改修事業につきましては、3月に策定しました「学校施設整備計画」により、平成31年度を目途に全校完了を目指しています。しかしながら、今年度の文部科学省の補助が当初予算で不採択されるなど先行きが不透明な部分もありますので、国の状況も注視しながら事業を進めていきたいと考えています。

(市長)

工事が完了していない学校は何校ありますか。

(事務局A)

恵み野旭小学校、恵み野小学校、柏陽中学校、恵み野中学校の4校です。

(B委員)

「史跡カリンバ遺跡整備事業費」が大幅な増額となった。整備基本計画も昨年度末にまとまり、少しずつではあるが動き出していると感じる。今年度及び次年度以降の予定はどうなっておりますか。

(事務局A)

「史跡カリンバ遺跡整備事業」については、整備基本計画が平成27年度末で決定し、「埋蔵文化財センター」と切り分けて整備を進めていくことをご承認をいただいているところです。

今年度は「現況地形測量」を行い地形図の作成を行います。次年度以降は「水文環境調査」などを行い、総合計画の第2次実施計画期間である平成31・32年頃には基本設計を行う予定となっております。

(3) 今後のスケジュールについて

(事務局B)

昨年度もこの会議を春と秋に2回開催しております。今年度も本日と秋の10月頃予定とし開催したいと思います。

(4) その他

(A委員)

いじめ、不登校など深刻な問題をどのように対応していくのか、家庭の教育というものは専門的な分野であるが、子どもが悩んだり、苦しんだり、話を聞いてあげることがなかったりと、誰かに話しを受け止めてもらえないことから、自殺する悲惨な事故が繰り返されることになる。

ソーシャルワーカーを導入していただき、大きな枠でとらえて重点施策を掲げているが、その対応はどう考えているのか。

(市長)

実施を具体的にするためには施策として示さなければならない。何とかしたい思いを、実

際にどのような対策をするかは非常に難しい。その子どもの生活環境により状況が違い本当に難しい問題である。

起こることが悲惨で、出来る事をしなくてはならないが、昔の子どもは死が怖いという思いがあったが、子どもたちの状況が変わってきたのかと考えなくてはならない。

(市長)

これをもちまして、議事を終了いたします。

(事務局B)

以上をもちまして、平成28年度第1回恵庭市総合教育会議を終了いたします。
委員の皆様、ありがとうございました。